



ファブリック インターコネクトの設定

- [ファブリック インターコネクトの初期構成 \(1 ページ\)](#)
- [コンソールを使用したファブリック インターコネクト A の設定 \(2 ページ\)](#)
- [コンソールを使用したファブリック インターコネクト B の設定 \(5 ページ\)](#)
- [GUI を使用したファブリック インターコネクト A の構成 \(6 ページ\)](#)
- [GUI を使用したファブリック インターコネクト B の構成 \(9 ページ\)](#)
- [ファブリック インターコネクト パスワードのガイドライン \(11 ページ\)](#)
- [Cisco UCS 6500 シリーズ ファブリック インターコネクトへの移行 \(12 ページ\)](#)
- [Cisco UCS 6500 シリーズ ファブリック インターコネクトと UCSX-9508 シャーシを使用した既存のドメインでの UCSX-I-9108-25G から UCSX-I-9108-100G IFM への移行 \(14 ページ\)](#)
- [ファブリック インターコネクトのビュー \(15 ページ\)](#)
- [ファブリック インターコネクトの詳細ビュー \(15 ページ\)](#)
- [ファブリック インターコネクトのインベントリ ビュー \(19 ページ\)](#)
- [ファブリック インターコネクトの接続ビュー \(20 ページ\)](#)
- [ファブリック インターコネクトの UCS ドメイン プロファイル ビュー \(20 ページ\)](#)

ファブリック インターコネクトの初期構成

ファブリック インターコネクトの初期設定は、ファブリック インターコネクトの初回起動時にシリアルコンソールを使用して実行できます。これは、工場出荷時のインストール中、または既存の設定がクリアされた後に発生します。設定ウィザードでは、管理モード、および各ファブリック インターコネクトの管理サブネット、ゲートウェイ、DNS IP アドレスなどの他のパラメータを選択できます。管理モードでは、ファブリック インターコネクトを Cisco UCS Manager または Cisco Intersight のどちらで管理するかを選択できます。

Cisco Intersight と Cisco UCS Manager 間のファブリック インターコネクトの管理モードを変更できます。ただし、これはすべてのエンドポイント設定がリセットされ、現在の設定が失われるため、中断を伴うプロセスです。



- (注) 管理モードを変更する前に、検出されたすべてのサーバ、シャーシ、およびファブリック エクステンダ (FEX) を停止する必要があります。

両方の管理モードで使用できる消去設定オプションを使用すると、既存の設定をクリアして、ファブリック インターコネク트를リブートできます。ファブリック インターコネク트가リブートすると、初期設定画面が表示され、適切な管理モードでファブリック インターコネク트를設定できます。

この構成プロセスは、クラスタ設定の Cisco UCS 6400 シリーズ ファブリック インターコネク트および Cisco UCS 6500 シリーズ ファブリック インターコネク트で有効です。



- (注) Cisco UCS 6500 シリーズ ファブリック インターコネク트는、ファームウェアバージョン 4.2(3b) 以降の UCSM 管理モード (UMM) をサポートします。

クラスタ内のファブリック インターコネク트를設定するには、次の手順を実行します。

1. [コンソールを使用したファブリック インターコネク트 A の設定](#)
2. [コンソールを使用したファブリック インターコネク트 B の設定](#)

ファブリック インターコネク트의初期設定が完了したら、Cisco Intersight プラットフォームで使用するためにそれらを要求する必要があります。Cisco Intersight でのデバイスの要求の詳細については、「[Intersight 管理モードでのターゲット要求](#)」を参照してください。

ファブリック インターコネク트를要求すると、使用可能なデバイスのリストに表示されます。Cisco Intersight によって管理されるファブリック インターコネク트의デバイスタイプは、**[Intersight 管理対象ドメイン (Intersight Managed Domain)]** です。**[デバイス IP (Device IP)]** フィールドには両方のファブリック インターコネク트의 IP アドレスが表示され、**[デバイス ID (Device ID)]** フィールドには両方のファブリック インターコネク트의シリアル番号が表示されます。ファブリック インターコネク트가**[ファブリック インターコネク트 (Fabric Interconnects)]** テーブルビューに表示されます。

ファブリック インターコネク트를要求した後、接続されたシャーシとサーバを検出するようにファブリック インターコネク트의ポートを設定する必要があります。ファブリック インターコネク트ごとに、ポート、ファンモジュール、電源ユニット (PSU) などのコンポーネントのプロパティとインベントリを表示できます。

コンソールを使用したファブリック インターコネク트 A の設定

ステップ 1 コンソール ポートに接続します。

- ステップ 2** ファブリック インターコネクトの電源を入れます。
ファブリック インターコネクトが起動すると、電源投入時のセルフテストメッセージが表示されます。
- ステップ 3** 設定されていないシステムがブートすると、使用する設定方法の入力を要求するプロンプトが表示されます。**console** と入力して、コンソール CLI を使用した初期設定を続行します。
- ステップ 4** 入力ファブリック インターコネクトの管理モードに入ります。
- **intersight** では、Cisco Intersight を使用してファブリック インターコネクトを管理します。
 - **ucsm** では、Cisco UCS Manager を使用してファブリック インターコネクトを管理します
- 注：**
- スタンドアロン オプションは、Intersight 管理対象モードではサポートされていません。
 - ファブリック インターコネクトがデフォルト モードである Intersight 管理モードのみのファブリック インターコネクトである場合は、[いいえ (No)] を選択して、必要なモードを選択できます。
- ステップ 5** **y** と入力して、初期設定を続行することを確認します。
- ステップ 6** 強力なパスワードを使用するには、**y** と入力します。
- ステップ 7** 管理アカウントのパスワードを入力します。詳細については、[ファブリック インターコネクトパスワードのガイドライン](#)を参照してください。
- ステップ 8** 確認のために、管理アカウントのパスワードを再入力します。
- ステップ 9** **yes** と入力して、クラスタ構成の初期設定を続行します。
- ステップ 10** ファブリック インターコネクトのファブリックに入ります (**A** または **B**) 。
- ステップ 11** システム名を入力します。
- ステップ 12** ファブリック インターコネクトの管理ポートの IPv4 または IPv6 アドレスを入力します。
IPv4 アドレスを入力する場合は、IPv4 サブネットマスクを入力するように求められます。IPv6 アドレスを入力する場合は、IPv6 ネットワーク プレフィックスを入力するように求められます。
- ステップ 13** 各 IPv4 サブネットマスク、または IPv6 ネットワーク プレフィックスを入力し、**Enter** キーを押します。
ファブリック インターコネクトの管理ポート用に入力したアドレスタイプに応じて、デフォルトゲートウェイの IPv4 または IPv6 アドレスが求められます。
- ステップ 14** 次のいずれかを入力します。
- デフォルト ゲートウェイの IPv4 アドレス
 - デフォルト ゲートウェイの IPv6 アドレス
- ステップ 15** DNS サーバーの IPv4 または IPv6 アドレスを入力します。
アドレスタイプはファブリック インターコネクトの管理ポートのアドレスタイプと同じである必要があります。
- ステップ 16** デフォルトのドメイン名を指定する場合は **yes** を入力し、指定しない場合は **no** を入力します。
- ステップ 17** (任意) デフォルト ドメイン名を入力します。

ステップ 18 設定の要約を確認し、**yes** と入力して設定を保存および適用します。設定を一部変更するために再びやり直すには、**no** と入力します。

設定を再実行することを選択した場合、以前に入力した値がカッコに入れられて表示されます。以前に入力した値をそのまま使用する場合は、**Enter** を押します。

例

これは、コンソールアドレスと管理アドレスを使用してクラスタ構成の Cisco Intersight 管理モードでファブリック インターコネクト A を設定する例です。

```
Enter the configuration method (console/gui)? console
Enter the management mode [ucsm/intersight]? intersight
You have chosen to setup a new Fabric Interconnect in "intersight" managed mode. Continue?
(y/n): y
Enforce strong password? (y/n) [y]:n

Enter the password for "admin":
Confirm the password for "admin":

Enter the switch fabric (A/B) []: A

Enter the system name: UCS

Physical Switch Mgmt0 IP address : 15.XX.XX.XX

Physical Switch Mgmt0 IPv4 netmask : 255.255.255.X

IPv4 address of the default gateway : 15.XX.XX.XX

DNS IP address : 15.XX.XX.XX

Configure the default domain name? (yes/no) [n]:

Following configurations will be applied:

Management Mode=intersight
Switch Fabric=A
System Name=UCS-A
Enforced Strong Password=no
Physical Switch Mgmt0 IP Address=15.XX.XX.XX
Physical Switch Mgmt0 IP Netmask=255.255.255.X
Default Gateway=15.XX.XX.XX
Ipv6 value=0
DNS Server=15.XX.XX.XX

Apply and save the configuration (select 'no' if you want to re-enter)? (yes/no): yes
Applying configuration. Please wait.

Configuration file - Ok
```

次のタスク

コンソールを使用してファブリック インターコネクト B を設定します。

コンソールを使用したファブリック インターコネクト B の設定

ここでは、管理ポートに対し IPv4 または IPv6 アドレスを使用してファブリック インターコネクト B をセットアップする手順について説明します。

ステップ 1 コンソール ポートに接続します。

ステップ 2 ファブリック インターコネクトの電源を入れます。

ファブリック インターコネクトが起動すると、電源投入時のセルフテスト メッセージが表示されます。

ステップ 3 設定されていないシステムがブートすると、使用する設定方法の入力を要求するプロンプトが表示されます。**console** と入力して、コンソール CLI を使用した初期設定を続行します。

(注) ファブリック インターコネクト A は、クラスタ内のファブリック インターコネクト B を検出するはずですが、検出されない場合、L1 ポートと L2 ポートの間の物理接続を確認し、ピア ファブリック インターコネクト B がクラスタ設定用にイネーブルになっていることを確認します。

ステップ 4 **y** と入力して、ファブリック インターコネクト B をクラスタに追加します。

ステップ 5 ピア ファブリック インターコネクトの **admin** パスワードを入力します。

ステップ 6 ファブリック インターコネクト B の管理ポートの IP アドレスを入力します。

ステップ 7 設定の要約を確認し、**yes** と入力して設定を保存および適用します。設定を一部変更するために再びやり直すには、**no** と入力します。

設定を再実行することを選択した場合、以前に入力した値が示され、それらの値はカッコ内に表示されません。以前に入力した値をそのまま使用する場合は、**Enter** を押します。

例

次に、コンソールアドレスと管理アドレスを使用してクラスタ構成の Cisco Intersight 管理モードでファブリック インターコネクト B を設定する例を示します。

```
Enter the configuration method. (console/gui) ? console
```

```
Installer has detected the presence of a peer Fabric interconnect. This Fabric interconnect will be added to the cluster. Continue (y/n) ? y
```

```
Enter the admin password of the peer Fabric interconnect:
Connecting to peer Fabric interconnect... done
Retrieving config from peer Fabric interconnect... done
Peer Fabric interconnect management mode : intersight
Peer Fabric interconnect Mgmt0 IPv4 Address: 15.XX.XX.XX
Peer Fabric interconnect Mgmt0 IPv4 Netmask: 255.255.255.0
```

```
Peer FI is IPv4 Cluster enabled. Please Provide Local Fabric Interconnect Mgmt0 IPv4 Address
```

```
Physical Switch Mgmt0 IP address : 15.XX.XX.XX

Local fabric interconnect model(UCS-FI-6454)
Peer fabric interconnect is compatible with the local fabric interconnect. Continuing
with the installer...

Apply and save the configuration (select 'no' if you want to re-enter)? (yes/no): yes
Applying configuration. Please wait.

Configuration file - Ok
```

次のタスク

Cisco Intersight を介して Intersight 管理対象ドメインを要求します。詳細については、[ターゲット クレーム Intersight 管理モード](#)を参照してください。

GUI を使用したファブリック インターコネクト A の構成

GUI を使用したファブリック インターコネクト A の構成

この手順では、GUI を使用したファブリック インターコネクト A の構成について説明します。

GUI を使用してファブリック インターコネクト A を構成する方法の詳細については、「[クラスタ構成の初期システム セットアップ](#)」を参照してください。

1. ファブリック インターコネクトの電源を入れます。
ファブリック インターコネクトが起動すると、電源投入時のセルフテストメッセージが表示されます。
2. システムがリリースを取得する場合は手順 6 に移動します。それ以外の場合は次のステップに進みます。
3. コンソール ポートに接続します。
4. インストール方式プロンプトに **gui** と入力します。
.
5. システムが DHCP サーバにアクセスできない場合は、次の情報を入力するよう求められます。
 - ファブリック インターコネクトの管理ポートの IPv4 または IPv6 アドレス。
 - ファブリック インターコネクトの管理ポートの IPv4 サブネット マスクまたは IPv6 プレフィクス。
 - ファブリック インターコネクトに割り当てられたデフォルト ゲートウェイの IPv4 または IPv6 アドレス



- (注) クラスタ設定では、設定時に両方のファブリック インターコネクトに同じ管理インターフェイスのアドレスタイプを割り当てる必要があります。

6. プロンプトから Web ブラウザに Web リンクをコピーし、Cisco UCS ファブリック インターコネクト セットアップ GUI 起動ページに移動します。



- (注) 希望に応じて、次の 2 つのモードの間で選択できます。UCSM 管理対象と Intersight 管理対象 ファブリック インターコネクト。

7. 「Cisco UCS ファブリック インターコネクト セットアップ GUI」起動ページで、[簡易設定 (Express Setup)] を選択します。
8. [簡易設定 (Express Setup)] ページで、ファブリック インターコネクト構成の詳細を入力します。



- (注) Cisco UCS Manager 4.2(2) 以降から、GUI セットアップ方法を選択して、ファブリック インターコネクトを構成します。ファブリック インターコネクトのデフォルトが Intersight 管理対象モードに設定されている場合、確認中に変更を選択し、コンソールセットアップ方法のみで必要なモードを再び選択できます。

9. [基本設定 (Basic Settings)] エリア：
- [ファブリック設定 (Fabric Setup)] オプションで [ファブリック A (Fabric A)] を選択します。
 - Cisco Intersight マネージド モードで使用する IPv4 または IPv6 アドレスを選択します。

[Submit (送信)] をクリックします。

10. [System Setup] 領域で、次のフィールドに値を入力します。

フィールド	説明
[強力なパスワードの適用 (Enforce Strong Password)]	[はい] または [いいえ] を選択して、強力なパスワードを適用します。

フィールド	説明
システム名	Cisco UCS ドメインに割り当てられる名前。 スタンドアロン設定では、システム名に「-A」が追加されます。クラスタ設定では、ファブリック A に割り当てられたファブリック インターコネクトに「-A」が、ファブリック B に割り当てられたファブリック インターコネクトに「-B」が追加されます。
[管理パスワード (Admin Password)]	ファブリック インターコネクト上の管理者アカウントに使用されるパスワード。 Cisco UCS Manager のパスワードのガイドラインに適合する強力なパスワードを選択します。このパスワードは空にできません。
[Confirm Admin Password]	ファブリック インターコネクト上の管理者アカウントに使用されるパスワード。
[Mgmt IP Address]	ファブリック インターコネクトの管理ポートのスタティック IPv4 または IPv6 アドレス。
[Mgmt IP Netmask] または [Mgmt IP Prefix]	ファブリック インターコネクトの管理ポートの IPv4 サブネット マスクまたは IPv6 プレフィクス。 (注) [Mgmt IP Address] に入力したアドレス タイプに基づいて、[Mgmt IP Netmask] または [Mgmt IP Prefix] の入力が必要です。
[Default Gateway]	ファブリック インターコネクト上の管理ポートに割り当てられるデフォルトゲートウェイの IPv4 アドレス。 (注) [Mgmt IP Address] フィールドに入力したアドレス タイプに基づいて、システムから [Default Gateway] アドレス タイプへの入力が必要です。

フィールド	説明
DNS サーバーの IP (DNS Server IP)	ファブリック インターコネク트에割り当てられる DNS サーバの IPv4 または IPv6 アドレス。
ドメイン名	ファブリック インターコネク트가存在するドメインの名前。



- (注)
- Intersight 管理対象モード ファブリック インターコネク트의場合、DNS は必須です
 - スタンドアロン オプションは、Intersight 管理対象モードではサポートされていません。

11. [送信 (Submit)] をクリックします。

セットアップ操作の結果がページに表示されます。

次の作業

GUI を使用したファブリック インターコネクト B の構成

GUI を使用したファブリック インターコネクト B の構成

GUI を使用したファブリック インターコネクト B の構成

ここでは、GUI を使用したファブリック インターコネクト B のセットアップ手順を説明します。

以下に示す従属ファブリック インターコネク트의設定手順に従うか、または「[Cisco UCS Manager Initial Setup part 2](#)」を視聴します。



- (注) 新しいファブリック インターコネクートを既存の高可用性クラスタに追加する場合、たとえば、新規インストール時またはファブリック インターコネクートの交換時に、認証方式がリモートに設定されている限り、新しいデバイスはクラスタにログインできません。新しいファブリック インターコネクートをクラスタに正常に追加するには、認証方式を一時的にローカルに設定し、プライマリ ファブリック インターコネクートのローカル管理者資格情報を使用する必要があります。
1. ファブリック インターコネクートの電源を入れます。
ファブリック インターコネクートが起動すると、電源投入時セルフテストメッセージが表示されます。

2. システムがリースを取得する場合はステップ 6 に移動します。それ以外の場合は次のステップに進みます。
3. コンソール ポートに接続します。
4. インストール方式プロンプトに **gui** と入力します。
5. システムが DHCP サーバにアクセスできない場合は、次の情報を入力するよう求められます。
 - ファブリック インターコネクトの管理ポートの IPv4 または IPv6 アドレス。
 - ファブリック インターコネクトの管理ポートの IPv4 サブネット マスクまたは IPv6 プレフィクス。
 - ファブリック インターコネクトに割り当てられたデフォルト ゲートウェイの IPv4 または IPv6 アドレス



- (注) クラスタ設定では、設定時に両方のファブリック インターコネクトに同じ管理インターフェイスのアドレスタイプを割り当てる必要があります。

6. プロンプトから Web ブラウザに Web リンクをコピーし、Cisco UCS ファブリック インターコネクト セットアップ GUI 起動ページに移動します。



- (注) 希望に応じて、次の 2 つのモードの間で選択できます。UCSM 管理対象と Intersight 管理対象 ファブリック インターコネクト。

7. 「Cisco UCS ファブリック インターコネクト セットアップ GUI」起動ページで、[簡易設定 (Express Setup)] を選択します。
8. [簡易設定 (Express Setup)] ページで、ファブリック インターコネクト構成の詳細を入力します。



- (注) Cisco UCS Manager 4.2(2) 以降から、GUI セットアップ方法を選択して、ファブリック インターコネクトを構成します。ファブリック インターコネクトのデフォルトが Intersight 管理対象モードに設定されている場合、確認中に変更を選択し、コンソールセットアップ方法のみで必要なモードを再び選択できます。

9. [基本設定 (Basic Settings)] エリア :
 - [ファブリックの設定 (Fabric Setup)] オプションに対して [ファブリック B (Fabric B)] が選択されていることを確認します。

10. [System Setup (システム セットアップ)] 領域の [Admin Password of Master (マスターの管理者パスワード)] フィールドに管理者アカウントのパスワードを入力します。
[Manager の初期設定 (Manager Initial Setup)] エリアが表示されます。
11. [Manager の初期設定 (Manager Initial Setup)] エリアで表示されるフィールドは、最初
のファブリック インターコネクトを IPv4 または IPv6 のどちらの管理アドレスに設定し
たかによって異なります。次のように、設定に適したフィールドに入力します。

フィールド	説明
[Peer FI is IPv4 Cluster enabled. ローカル ファブリック インターコネクト Mgmt0 IPv4 アドレスを指定してください]	ローカル ファブリック インターコネクト の Mgmt0 インターフェイスの IPv4 アドレ スを入力します。
[Peer FI is IPv6 Cluster enabled. ローカル ファブリック インターコネクトの Mgmt0 IPv6 アドレスを指定してください]	ローカルファブリック インターコネクト の Mgmt0 インターフェイスの IPv6 を入力 します。

12. [送信 (Submit)] をクリックします。
セットアップ操作の結果がページに表示されます。

次の作業

Cisco Intersight を介して Intersight 管理対象ドメインを要求します。詳細については、
「[Intersight 管理対象モードのターゲット クレーム](#)」を参照してください。

ファブリック インターコネクトパスワードのガイドライ ン

シスコでは強力なパスワードを使用することを推奨しています。そうしなかった場合、ファブ
リック インターコネクトの管理ユーザーに対するパスワードの強度チェックで、Cisco Intersight
は次の要件を満たさないパスワードを拒否します。

- 8 文字以上、80 文字以下。
- 次の少なくとも 3 種類を含む。
 - 小文字
 - 大文字
 - 数字
 - 特殊文字
- aaabbb など連続して 3 回以上繰り返す文字を含まない。

- ユーザ名と同一、またはユーザ名を逆にしたものではない。
- パスワードのディクショナリ チェックに合格する。たとえば、辞書に記載されている標準的な単語に基づいたパスワードを指定することはできません。
- 次の記号を含まない。\$（ドル記号）、?（疑問符）、=（等号）。
- 空白にすることはできません。

Cisco UCS 6500 シリーズ ファブリック インターコネクトへの移行

Cisco UCS 6400 シリーズ ファブリック インターコネクト-B の Cisco UCS 6500 シリーズ ファブリック インターコネクト-B への置き換え

ここでは、Cisco UCS 6400 シリーズ ファブリック インターコネクトから Cisco UCS 6500 シリーズ ファブリック インターコネクトに移行するプロセスをつ名します。

手順

1. 移行中のトラフィック損失を最小に抑えるために、シャーシからファブリック A および B に冗長パスがあることを確認し、vNIC が冗長であるか、ファブリック フェイルオーバーが有効になっているかを確認してください。IFM の移行中は、処理中のパケット損失が予想されるため、次の一連の操作はメンテナンス時間帯にのみ実行することが最良です。
2. Cisco UCS 6400 シリーズ ファブリック インターコネクトのプラグを電源から抜いて電源を切ります。

KVM セッションを使用して移行をモニタしている場合は、ファブリック インターコネクトを電源オフにしたときに KVM セッションの再接続が必要になることがあります。
3. ネットワーク管理ポート、L1/L2 ポート、ラックサーバー、シャーシ IOM/IFM ポート、ファブリックエクステンダ、アップリンクポート、およびファイバー接続などのすべての接続を Cisco UCS 6400 ファブリック インターコネクト B から切断します。
4. Cisco UCS 6400 シリーズ ファブリック インターコネクト-B を Cisco UCS 6500 シリーズ ファブリック インターコネクト-B に置き換えます。
5. ネットワーク管理ポート、L1/L2 ポート、ラックサーバー、シャーシ IOM/IFM ポート、ファブリックエクステンダ、アップリンクポート、ファイバー接続などのすべての接続を、新しい Cisco UCS 6500 シリーズ ファブリック インターコネクトに接続します。

UCS 6500 シリーズ ファブリック インターコネクトへの接続には、適切なケーブルを使用する必要があります。詳細については、『[Cisco UCS 6500 Series Fabric Interconnect Hardware Installation Guide](#)』および『[Cisco UCS 6500 Series Fabric Interconnect Data Sheet](#)』を参照してください。



- (注) UCSX-9508 シャーシの UCSX-I-9108-100G に IFM を移行することを選択できます。
- UCS-IOM-2204/2208XP は、Cisco UCS 6500 シリーズ ファブリック インターコネクットではサポートされていません。Cisco UCS 5100 シリーズ シャーシの UCS-IOM-2408 に移行できます。

6. 新しい Cisco UCS 6500 シリーズ ファブリック インターコネクットに電源を接続すると、自動的にブートし、POST テストが実行されます。
- 重要** コンソール ポートを端末に直接接続し、ブート シーケンスを確認します。ある時点で基本システム設定ダイアログが表示されます。ここでは、スイッチをピアインターコネクットとして構成します。Cisco UCS 6500 シリーズ ファブリック インターコネクットが以前に設定されているか、クラスタの一部であった場合、クラスタに追加する前にすべての設定情報を消去する必要があります。L1 および L2 接続をすぐに切断し、ファブリック インターコネクットにログインして、構成の消去を実行して、既存の設定を消去します。
7. Cisco UCS 6500 シリーズ ファブリック インターコネクット B の新しいポート ポリシーを作成して、ファブリック インターコネクットとの接続を反映します。
 - 必要に応じてイーサネット/FC ブレークアウト ポートを構成します。
 - 必要に応じて、ポート ロール/ポート チャネルを構成します。
 8. クラスタのドメインプロファイルを編集し、新しい Cisco UCS 6500 シリーズ ファブリック インターコネクット B ポート ポリシーを参照するようにファブリック インターコネクット B ポート ポリシーを変更します。



- (注) **ドメイン プロファイルの展開**は、置換ワークフローの一部になります。したがって、ポート ポリシーの変更後にプロファイルを展開する必要はありません。ファブリック インターコネクット モデルが更新されていないため、ドメイン プロファイルの展開は失敗します。
9. [操作 (Operate)] > [ファブリック インターコネクット (Fabric Interconnects)] に移動して、新しい Cisco UCS 6500 シリーズ ファブリック インターコネクットと古い Cisco UCS 6400 シリーズ ファブリック インターコネクットを表示します。
 10. Cisco UCS 6400 シリーズ ファブリック インターコネクットの [ファブリック インターコネクットを置換する (Replace Fabric Interconnect)] オプションをクリックして、置換ワークフローを開始します。
 11. 以下を確認します。
 - 接続解除されたファブリック インターコネクット クラスタがインベントリから削除されます。
 - ドメイン プロファイルが新しいファブリック インターコネクット クラスタに再割り当てされ、展開されます。

- サーバー、シャーシ、および FEX がインベントリに登録され、新しいファブリック インターコネクト クラスタで検出されます。
- サーバおよびシャーシプロファイルは、ファブリック インターコネクト関連のポリシーを使用して再展開されます。



- (注)
- 異なる IFM モデルが混在している場合、両方の IFM が同じになるまで、シャーシ プロファイルはプッシュされません。

たとえば、IFM を UCSX-I-9108-25G から UCSX-I-9108-100G に移行し、移行前にシャーシ プロファイルを展開した場合、シャーシに異なる IFM モデルが混在している場合、シャーシ プロファイルは展開されません。シャーシ プロファイルは、シャーシ内の両方の IFM が UCSX-I-9108-100G に移行された後に自動的に展開されます。

Cisco UCS 6400 シリーズ ファブリック インターコネクト-A の Cisco UCS 6500 シリーズ ファブリック インターコネクト-A への置き換え

ファブリック インターコネクト A について上記の手順を繰り返し、UCS 6400 シリーズ ファブリック インターコネクトから UCS 6500 シリーズ ファブリック インターコネクトへの移行を完了します。

Cisco UCS 6500 シリーズ ファブリック インターコネクトと UCSX-9508 シャーシを使用した既存のドメインでの UCSX-I-9108-25G から UCSX-I-9108-100G IFM への移行

次の手順に従って、Cisco UCS 6500 シリーズ ファブリック インターコネクトおよび UCSX-9508 シャーシを使用して UCSX-I-9108-25G IFM から 100G IFM に移行します。

手順

1. 移行中のトラフィック損失を最小に抑えるために、シャーシからファブリック A および B に冗長パスがあることを確認し、vNIC が冗長であるか、ファブリック フェイルオーバーが有効になっているかを確認してください。IFM の移行中は、処理中のパケット損失が予想されるため、次の一連の操作はメンテナンス時間帯にのみ実行することが最良です。

2. 一度に 1 つの IFM を交換します。

ファブリック インターコネクト B ポートポリシーから開始し、移行する UCSX-I-9108-25G IFM に向けてサーバ ポートを構成解除します。サーバ ポートの構成が解除されると、ピア ファブリック インターコネクトがこれらの移行中の UCS シャーシのトラフィック転送を引き継ぎます。

3. ドメイン プロファイルを展開します。

4. 移行する各シャーシから、ピア Cisco UCS 6500 シリーズ ファブリック インターコネク ト B と対応する UCSX-I-9108-25G IFM を接続しているケーブルを外します。
5. 移行中の UCSX-I-9108-25G IFM を外して、UCSX-I-9108-100G IFM に置き換えます。適切 なケーブルを使用して、UCSX-I-9108-100G IFM をピア Cisco UCS 6500 シリーズ ファブ リック インターコネク ト B に接続します。詳細については、「[Cisco UCS 6500 シリーズ ファブリック インターコネク ト データ シート](#)」を参照してください。

この時点で、移行する UCS シャーシには UCSX-I-9108-25G と UCSX-I-9108-100G IFM が混在しています。
6. ファブリック インターコネク ト B ポート ポリシーを設定してから、ドメイン プロファイ ルを展開します。IFM とファブリック インターコネク トの間で 100GbE リンクが確立され ていることを確認します。
 - UCSX-I-9108-100G IFM は、ファームウェアがファブリック インターコネク トと同じ でない場合、自動アップグレードされます。
 - IFM がオンラインになると、自動的に検出され、インベントリされます。シャーシ内 のブレードが検出され、サーバー プロファイルが自動的に展開されます。サーバーが リブートされたり、中断されたりすることはありません。
 - シャーシ プロファイルは、シャーシ内の両方の IFM が UCSX-I-9108-100G に移行され た後に自動的に展開されます。
7. Cisco UCS 6500 シリーズ ファブリック インターコネク ト B への IFM 移行が完了したら、 手順 3 ～ 7 を繰り返して、Cisco UCS 6500 シリーズ ファブリック インターコネク ト-A に 接続されている他の UCSX-I-9108-25G を交換し、UCSX-I-9108- UCS ドメインの 100G IFM 移行を完了します。

ファブリック インターコネク トのビュー

ファブリック インターコネク トの詳細ビュー

[ファブリック インターコネク ト (Fabric Interconnects)] テーブル ビューでファブリック イン ターコネク トを選択すると、そのファブリック インターコネク トに固有の情報を含む [詳細 (Details)] ページが表示されます。ファブリック インターコネク トが **[未接続 (Not Connected)]** ステータスの場合、デバイスの詳細を表示して問題を解決できます。さらにトラ ブルシューティングするための推奨事項については、「[Intersight へのデバイス接続が失敗す る](#)」を参照してください。

ファブリック インターコネク トの **[健全性 (Health)]** ステータスの他に、[ファブリック イン ターコネク トの詳細 (Fabric Interconnects Details)] ページには次の情報を表示できます。

- Name

- **Peer Switch** : 表示するデバイスに応じて、ファブリック インターコネクト A または B の名前。[Peer Switch] をクリックして、他のファブリック インターコネクトの詳細を表示します。
- **Model** : ファブリック インターコネクトのモデル番号
- **Expansion Modules** : ファブリック インターコネクトの拡張モジュールの数
- **Serial** : ファブリック インターコネクトのシリアル番号
- **Management IP** : ファブリック インターコネクトの管理インターフェイスの IP アドレス
- **Switch Profile** : ファブリック インターコネクトが属する UCS ドメイン用に作成されたスイッチプロファイルの名前
- **Switch Profile Status** : ファブリック インターコネクトに関連付けられているスイッチプロファイルの現在のステータス
- **Firmware Version** : ファブリック インターコネクトで実行されているファームウェアバージョン
- **Ports** : ポートの総数
- **Used** : 使用ポートの数
- **Available** : 使用可能なポートの数
- **Tags** : ファブリック インターコネクトの既存のタグ。 **Manage** タグから新しいタグの追加や既存のタグの変更を行えます。

Properties 領域に、ファブリック インターコネクトのグラフィカルビューが表示されます。**Health Overlay** 機能を使用すると、ファブリック インターコネクトのポートのヘルスをモニタできます。また、この領域には次の情報が表示されます。

- **Mode** : UCS ファブリック インターコネクトは、イーサネットまたはファイバチャネルという、2 種類のメインスイッチングモードで動作します。これらのモードは相互に独立しています。サーバとネットワーク間またはサーバとストレージデバイス間で、ファブリック インターコネクトがデバイスとして動作する方法を決定します。
 - **イーサネットモード** : イーサネットスイッチングモードにより、サーバとネットワーク間のスイッチング デバイスとしてファブリック インターコネクトがどのように動作するのが決まります。ファブリック インターコネクトは、次のイーサネット スイッチング モードのいずれかで動作します。
 - **エンドホスト モード** では、ファブリック インターコネクトが、仮想ネットワークインターフェイスカード (vNIC) を介して接続されているすべてのサーバ (ホスト) に代わって、ネットワークに対するエンド ホストとして動作できます。
 - **スイッチモード** : ファブリック インターコネクトで STP を実行して、ループを回避できるようにします。ブロードキャストおよびマルチキャストパケットは、従来の方法で処理されます。

- **FC モード**：ファイバチャネル スイッチング モードは、サーバとストレージデバイス間のスイッチング装置としてファブリック インターコネク트가どのように動作するかを決定します。ファブリック インターコネク트는、次のファイバチャネル スイッチング モードのいずれかで動作します。
 - **エンドホスト モード**：エンドホストを使用すると、ファブリック インターコネク트는、仮想ホストバス アダプタ (vHBA) を介して接続されているすべてのサーバ (ホスト) に代わって、接続されているファイバチャネル ネットワークに対するエンドホストとして動作することができます。
 - **スイッチ モード**：スイッチ モードを使用して、ファブリック インターコネク트를ストレージデバイスに直接接続することができます。
- **Admin Evac State**：ファブリック インターコネク트トラフィックの退避状態を指定します。次のいずれかのオプションになります。
 - **無効**：ファブリック インターコネク트でトラフィックを再開します。
 - **有効**：ファブリック インターコネク트でトラフィックを停止します。
- **Oper Evac State**：ファブリック インターコネク트トラフィックの運用上の退避状態を指定します。
- **FC ゾーンカウント**
 - **FC Zone Limit**：このファブリック インターコネク트で許可されているファイバチャネル ゾーンの最大数。
 - **FC User Zone Limit**：このファブリック インターコネク트で許可されているユーザ作成のファイバチャネル ゾーンの最大数。
 - **FC Zone Count**：このファブリック インターコネク트で定義されているファイバチャネル ゾーンの数。
 - **FC User Zone Count**：このファブリック インターコネク트で定義されているユーザ作成のファイバチャネル ゾーンの数。
- **アクセス**
 - **IP Address**：ファブリック インターコネク트と通信するときに使用する IP アドレス。
 - **Subnet Mask**：IP アドレスに関連付けられたサブネット マスク。
 - **Default Gateway**：IP アドレスに関連付けられたゲートウェイ。
 - **MAC**：MAC アドレス
- **VLAN ポート数**
 - **VLAN Port Limit**：このファブリック インターコネク트で許可されているファイバチャネル ゾーンの最大数。

- **Access VLAN Port Count** : 利用可能な VLAN アクセス ポートの数。
- **Border VLAN Port Count** : 利用可能な VLAN ボーダー ポートの数。
- **Compressed Optimization Sets** : VP 最適化グループの数。
- **Compressed VLAN Port Count** : 圧縮 VLAN ポートの数。
- **Uncompressed VLAN Port Count** : 非圧縮 VLAN ポートの数。

アラーム

Intersight は、管理対象のすべての UCS と HyperFlex システムに関するアラームの追跡とセットアップを行うための障害監視機能を提供しています。発生したセットアップの失敗（フォールト）またはしきい値に関するアラームを通知します。Intersight でのアラームには、障害が発生した時点で影響を受けたオブジェクトの動作状態に関する情報が含まれています。特定のアラームをクリックして障害コード、ソース タイプおよび名前、障害が発生したコンポーネント、障害の説明を表示します。



- (注) アラームを生成するには、Intersight 管理対象デバイスがファームウェアバージョン 4.1 (3) 以降で実行されている必要があります。

アラームの詳細を表示するには、いずれかのカテゴリをクリックします。

- **All(Info)** : 重大と警告の両方の障害の合計数を表示します。
- **Critical** : 重大な障害の総数が表示されます。サービスに影響を与える状態で、早急な是正措置を必要とする場合に発生します。たとえば、このシビラティ（重大度）は管理対象オブジェクトがサービス停止状態になっており、その機能を早急に回復させる必要があることを示している場合があります。
- **Warning** : 警告障害の総数が表示されます。潜在的または差し迫ったサービスに影響する障害が発生した場合に発生します。

この障害は、システムに重大な影響を与えるものであることも、すぐに影響を与えたりするものではないこともあります。警告ステータスは、障害を診断し、問題を修正して適切に処理し、サービスに影響を与えるさらに重大な障害の発生を防ぐ必要があることを示しています。

注 : Intersight 管理モードでサポートされるファブリック インターコネクト モデルは次のとおりです。

- UCS FI-6454
- UCS-FI-64108
- UCS-FI-6536

および

UCSM管理モードでサポートされるファブリック インターコネクットモデルは次のとおりです。

- UCS-FI-6248UP、UCS-FI-6296UP
- UCS-FI-6332、UCS-FI-6332-16UP
- UCS-FI-M-6324
- UCS FI-6454
- UCS-FI-64108

ファブリック インターコネクットのインベントリ ビュー

[Fabric Interconnects] テーブルビューでファブリック インターコネクットを選択すると、**Inventory** タブでコンポーネントのインベントリを表示できます。

選択したファブリック インターコネクットについて、次の各コンポーネントの詳細を表示できます。

- **[Ports & Port Channels]** : ファブリック インターコネクットのイーサネットポート、FC ポート、イーサネットポートチャネル、および FC ポートチャネルの概要を表示できます。特定のポートをクリックすると、そのポートのプロパティとグラフィカルビューを表示できます。

このビューからポートまたはポートチャネルを **Enable** または **Disable** は無効にできます。ポートを無効にすると、トラフィックが中断する可能性があります。無効なポートに接続されているデバイスもオフラインになります。ポートチャネルを無効にすると、メンバーポートも無効になります。

ファブリック インターコネクット インベントリ ビューの **[リセット (Reset)]** オプションを使用すると、サーバーロールが設定されているポートまたはイーサネットポートをリセットできます。**リセット (Reset)** アクションは、FEX インベントリビューの FEX のバックプレーンポートでも使用できます。



(注) このアクションは、設定が正しくないためにポートが収束していない場合にのみ試行する必要があります。ポートをリセットにすると、トラフィックが中断する可能性があります。

- **ファンモジュール** : ファブリック インターコネクットのファンモジュールの概要を確認できます。特定のファンモジュールをクリックすると、ファンモジュールのファンのリスト、およびそのファンモジュールのプロパティとグラフィカルビューを表示できます。
- **PSU** : ファブリック インターコネクットの電源装置 (PSU) の概要を確認できます。特定の PSU をクリックすると、その PSU のプロパティとグラフィカルビューを表示できます。
- **[ローカルストレージ (Local Storage)]** : サイズや現在の使用状況などの詳細を含む、ファブリック インターコネクットのパーティションの概要を表示できます。

ファブリック インターコネクトの接続ビュー

[接続 (Connections)] ビューには、ファブリック インターコネクトに直接または間接的に接続されているすべてのコンポーネント（サーバ、シャーシ、ファブリック エクステンダ (FEX) など）のリストが表示されます。

選択したファブリック インターコネクトで使用可能な情報に応じて、次の情報が表示されます。

- [コンピューティング (Compute)]

- [サーバ (Servers)] : ファブリック インターコネクトに接続されているすべてのサーバの詳細。これらの詳細は、名前、Name、Health、User Label、Slot Id、Management IP、Model、および Serial です。
- [シャーシ (Chassis)] : ファブリック インターコネクトに接続されているすべてのシャーシの詳細。これらの詳細は、Name、Health、Model、および Serial です。

- [ネットワーク (Network)]

- [ファブリック エクステンダ (Fabric Extenders)] : ファブリック インターコネクトに接続されているファブリック エクステンダの詳細。これらの詳細は、Name、Health、Model、Vendor、および Serial です。

- [廃止 (Decommissioned)]

- [デバイス (Devices)] : デコミッションされたデバイスの詳細。これらの詳細は、Type、Model、Serial、Decommissioned Date です。

ファブリック インターコネクトの UCS ドメイン プロファイル ビュー

[UCS ドメイン プロファイル (UCS Domain Profile)] ビューには、ポート設定、VLAN および VSAN 設定、および UCS ドメイン設定がグラフィック表示されます。さらに、次の情報が表示されます。

- [詳細 (Details)]

- [ステータス (Status)] : ファブリック インターコネクトペアから UCS ドメイン プロファイルの割り当てを解除します
- [名前 (Name)]
- [ファブリック インターコネクト A (Fabric Interconnect A)] : ファブリック インターコネクト A の名前。

- **[ファブリック インターコネクト B (Fabric Interconnect B)]** : ファブリック インターコネクト B の名前。
- **[最終更新日 (Last Update)]** : Last Update : UCS ドメインプロファイルが最後に更新された日時。
- **[説明 (Description)]** : UCS ドメインプロファイルのオプションの説明
- **[タグ (Tags)]** : ドメイン (Domain) の既存のタグ。 **[管理 (Manage)]** タグから新しいタグの追加や既存のタグの変更を行えます。
- **[ポリシー (Policies)]**

UCS ドメイン プロファイルにアタッチされているポリシーを表示します。 **[ポリシー (Policies)]** ペインには、ポート、VLAN、VSAN、および UCS ドメイン設定の詳細が表示されます。 ポートロール、ポートチャネル、および関連付けられたポリシーのリストを含む、ファブリックインターコネクトのポート設定がグラフィカルに表示されます。 VLAN、VSAN、および UCS ドメイン設定には、選択したドメインプロファイルに関連付けられたドメイン ポリシーがリストされます。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。